

腎センターの取り組み

当腎センターは、現在ベット数が33床あり、血液透析をはじめオンラインHDF-I—HDFからLDL吸着療法・GCAP療法の実施や腹膜透析の管理を行っています。

(一社)日本透析医学会認定施設と(一社)日本アフェリシス学会施設認定病院の認定を受けており、日本透析医学会認定医・指導医の常勤医師2名をはじめ、和歌山県立医科大学腎臓内科 准教授 大矢昌樹医師による診察を実施しています。

また、当院では透析治療中に運動療法やフットケアを実施しており、リハビリスタッフによる運動機能評価や運動指導、透析スタッフによる下肢末梢動脈疾患の重症化予防なども行い、看護師・臨床工学技士・薬剤師・管理栄養士・理学療法士などの各スタッフが協働し、透析患者さんのQOL向上に努めています。

さらにシャントトラブルに対しても手術・インターベンション治療など迅速に実施しているほか、各種合併症に対しても、近隣医療機関と連携しながら対応しています。



成川院長による回診の様子



透析中の運動療法場面

透析治療時間

月水金 8:10~13:00 13:30~22:00 火木土 8:10~17:00

※送迎サービスも実施しています(要相談)

◎ご相談・ご案内は、TEL:0737-83-0078

地域連携室・腎センターまでご連絡をお願いします。

●防災訓練 (令和3年6月29日)

有田市消防隊員の指導の下、夜間に病棟で火災が発生した想定で消火避難訓練を実施しました。夜間という少ない人数の中、役割を分担し迅速な対応ができるように取り組みました。また、参加したスタッフは消火器や消火ホースの使い方・避難経路の再確認を行いました。

消火避難訓練終了後には、消防隊員によるAEDに関する講習も行われました。



●研修参加優秀施設表彰銅賞

日本慢性期医療協会総会にて、2020年度研修参加優秀施設表彰があり、当院は銅賞を頂きました。



医師紹介

内科 ^{まるやま あんな} 丸山 杏奈 医師

平成 31年3月 和歌山県立医科大学卒業
平成 31年4月 和歌山県立医科大学付属病院初期研修
令和 3年4月 和歌山県立医科大学 第一内科 学内助教



令和3年の4月より、桜ヶ丘病院の木曜日内科外来を担当させていただいており、健康診断や一般内科を中心に診療をさせていただいています。地元という恵まれた環境で、地域の方々の温かみを感じながら勤務できることは大変嬉しいことでありますし励みにもなっております。糖尿病を中心とした生活習慣病は、年々増えてきております。また生活習慣病は、気づかぬうちに進行し、合併症を引き起こす病気です。薬物治療だけでなく、受診のきっかけづくりや食事指導を含め、地元の人たちに貢献できるように頑張っていきたいと思っております。

患者さん一人ひとりを大切に、コミュニケーションを密にすることによって「治療」と「予防」の両面から健康管理の手助けができるように、これからも努めてまいります。

●第45回桜ヶ丘病院研究発表会(令和3年5月8日)

今回は感染対策を考慮し、当院および守厓会の複数会場から参加するWeb形式で行い、各部門・委員会から7演題の発表がありました。

最優秀賞

「転倒転落防止への取り組み」

5階病棟 看護師 南村 幸子

優秀賞

「特定抗生剤使用患者への早期介入による効果」

ICT(感染制御チーム) 薬剤師 湯瀬 敦

「透析患者の服薬状況把握と支援を試みて」

腎センター 看護師 谷中 賀也

「認知症患者の食欲低下に対して嗅覚刺激が食事摂取に及ぼす影響」

リハビリテーション科 言語聴覚士 水田 達也



●第24回さくら喫茶～認知症(予防)カフェ～(令和3年6月26日)



当院では地域住民の方々に認知症について楽しく学んで頂くため、定期的に“さくら喫茶”を開催しています。今回は、身体と頭を使った健康体操や手作り写真立て作りを行いました。参加された方々はそれぞれ好きな形や色の飾りをつけ、思い思いに写真立てを作り喜んでいただけました。